

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 27 No 4

308号

平成31年 4月 9日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

小児科は何才まで？

院長

3月4月は別れと出会いの季節です。保育園に行く子、小学校入学、中学校入学、そして高校、大学、さらにはいつの間にか大人になって社会人になる子もいます。この時期になると聞かれることに、「いつまで小児科にかかっているのですか？」があります。

皆さんは総合診療医（総合医）という言葉を知っていますか。総合医を理解する前に、まずは専門医から話を進めましょう。医学の進歩によって特殊な治療法が生み出され、その分野に詳しい医師が生まれてきました。それが専門医と呼ばれ、昔は内科医、外科医、産婦人科医なども専門性を持った医師として認められていました。しかしながら内科医でも、病気が細分化され、消化器内科、循環器内科、腎臓内科等の専門医が必要になりました。消化器内科も、さらに胃、大腸、肝臓等に分けられ、大学病院などでは臓器ごとの専門家が養成されているのです。このように細分化された専門医は、狭い領域に豊富な知識を持ち、経験を重ねなくてはならない特別な存在となります。

患者さんが病気になった時、どの専門医にかかればいいのかは自身では判断ができないことがあるはずです。頭痛にしても、カゼなのか、髄膜炎なのか、脳腫瘍なのか、てんかんなのか判断はできません。現在は大病院へ行くと、何科を受診かわからない患者さんを振り分ける診療科として、総合診療科も増えてきました。受診した患者さんを専門医につなぐ役目を持つのが総合医ということになります。

話が脇道に逸れたので、少し戻して説明します。「いつまで小児科にかかれるのでしょうか」を考える上で大事なことは、小児科医というものを知らなければなりません。赤ちゃんが熱を上げて、機嫌が悪いという状況を思い起こしてみてください。大人なら、何がどう辛くて、どんな風に具合が悪いと説明することができます。大人を診ている診療所の先生は、患者さんの訴えから病気を疑い、診察や検査によって診断を確定します。正確な訴えができない子どもを相手にしている小児科医は、様々な情報を集約して病気を診断し治療するのです。赤ちゃんでは耳鼻科疾患であっても、膀胱炎であっても、カゼであっても、時には婦人科疾患であっても、症状だけでは区別できないということが普通です。大人であれば自分の症状から判断して、耳鼻科、婦人科等の自身で目指す診療科を訪れます。小児科医は臓器別に診ているのではなく、子どもを頭の

先から足の先まで診るので、子どもの総合診療医と呼ばれているのです。そう書いてしまうと、内科の先生も同じと思うかもしれませんが、また内科・外科・小児科・皮膚科・整形外科と看板を上げている先生は総合診療医と誤解するかもしれません。でもこれは総合医の本来的意味とは違うもので、どんな看板を挙げていても、もともと一つの科の専門医なのです。新しい専門医制度が生まれて、全ての領域の知識を身につけた総合診療医がこれから生まれてくるのです。

またまた話が回り道していますが、ここからの本題です。さて小児科は何才までなのでしょう。当院は「お母さんの不安・心配の解消」を理念として開業して25年が過ぎました。当時のお母さんはおばあちゃんになり、赤ちゃんはお母さんになっているかもしれません。赤ちゃんの健康は、お母さんの精神的および身体的な健康に支えられています。ということになれば、お母さんの健康は、赤ちゃんにとってとても重要なこととなります。赤ちゃんの健康のため、親御さんの問題を解決することが、子どもを診るだけでない小児科医の重要な役割と捉えています。親子共々胃腸炎で嘔吐と下痢がひどい場合を考えてみましょう。赤ちゃんは小児科、お母さんは内科ということになれば、子どもの治療を優先するあまり母親が我慢するということが起こり得ます。そんな時は親子揃って点滴をするに限るし、親の具合の方が悪ければ、子どもを待合室で遊ばせながら母親はゆっくり点滴をすることもできます。家に帰ると子どもがいて休めないという理由で点滴をすることさえあります。子どもに多い感染症やアレルギーは大人になったからといって治療法が変わるものではありません。感染症やアレルギー、さらには母乳と薬に関して十分な知識を持っているのが小児科医なのです。子どもの頃の喘息で治療を継続している大人もたくさんいます。学校で嫌なことがあるとガス抜きに来る小さい頃からのかかりつけの女子高生、腹痛で学校からタクシーで飛び込んできた虫垂炎の男子高生もいました。将来の子宮頸がん予防のためワクチン接種に力を注いでいるのも小児科医です。でも正直言って手が及ばない領域もあります。なんでもいから全部診てあげるとするのは優しいと思う反面、無責任ということになりかねません。

つまり、学問的には小児科は15才となっていますが、医療という観点から気軽に受診できる総合診療医と考えれば、何才まででも大丈夫なのです。でも無責任にはなりたくないの、生活習慣病と婦人科疾患は勘弁してください。それ以外であれば、大人になっても、なんでも相談してください。

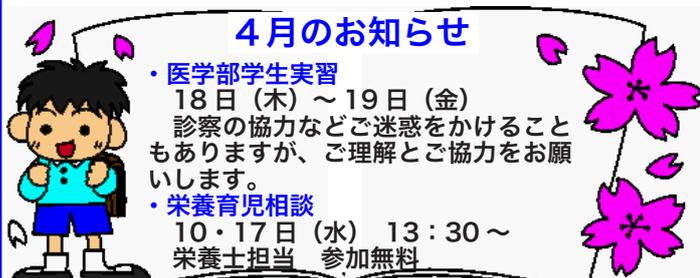
GW (9連休) 診療に関するお知らせ

休みが長く続くことによる不向き・問題を考慮して、下記の通り診療します。

4月30日(火) 診療 9:00~16:00
5月02日(木) 診療 9:00~12:00
5月07日(火) 休診(代休)

せっかく開けているので、上手に利用してください。詳細は問い合わせてください。

4月のお知らせ



- ・医学部学生実習
18日(木)~19日(金)
診察の協力などご迷惑をかけることもあります。ご理解とご協力をお願いします。
- ・栄養育児相談
10・17日(水) 13:30~
栄養士担当 参加無料

『子ども・子育て支援の都市仙台！ ネウボラを仙台に！！』

読者の広場

先月はメールが少なくわずかに3通のメールでした。

まずは青葉区木島さんからです。「木島です。クリニックからのメールで、インフルエンザは見なくなった、とありましたが、子どもらの小学校では先週あたりからまた再流行、奏太も感染、木曜に発症してしまい、明日の卒業式は欠席することに…。先週末の段階で、熱が下がって本人大丈夫であれば一部もしくは全部参加できないものか?と提示していた学校側も、週明けの今日、さらに人数が増えたことで、感染してるお子さんに関しては後日証書授与できるように予定組みます、との方向になりました(^_^;この話を受け、実は、私も奏太も…ちよつとホツとしているところです。学校側の気遣いは嬉しかったのですが、最後の行事とはいえ、いろんなリスクを承知で参加することに抵抗あったので…。欠席することになったのはもちろん残念ですが、それよりも、奏太本人が「参加はしたいけど皆にうつるかもしれないのは嫌だ」と、泣いたり騒いだりもせず、周りへの配慮がしっかりできる子に育ってくれたことが嬉しかったので、母としては満足です(o^^o)本当はかわむら先生のとこ受診していろいろお話ししたかったのですが、インフル発症したのが木曜午後だったので…近々、お薬もらいには何う予定ではありましたが、そこまで我慢できずにメールしてしまいました笑。長文失礼しました。」



この季節にインフルエンザが流行すると、入学試験や卒業式と重なってしまうことがあります。そんな時他人のことを考えて行動することは大切なことです。親御さんの中には卒業式だから無理して行かせるなどと考えてしまう人がいるのも事実です。奏太くんの成長、小さい頃から診ている自分にとっても嬉しいことです。立派に小学校卒業できましたね。お(・v・)め(・v・)で(・v・)と(・v・)う!

次は泉区遠藤さんから。「川村先生、昨日は素敵なプレゼントありがとうございました。みんなでとても美味しく楽しく食べさせて頂きました。本当にありがとうございました。昨日は翼の卒業式でした。翼も4月からは中学生になります。具合が悪くなるというも川村先生の病院に行って本当に元気にしてもらいました。ありがとうございました。中学生になってもよろしくお願い致します。萌も今、萌なりに前に進んで頑張っています。本当にいつもいつも川村先生に支えてもらいまして、ありがとうございます。咲も26日に大学の卒業式を迎えます。来月からは新社会人になります。旭ヶ丘に一人暮らしも初めます。先日、川村先生に『何か困った事があったらいつでも来なさい。』と言って頂いたのがとても嬉しかった咲です。本当にいつもありがとうございます。いつも長文になってしまいましたすみません。これからも親子共々よろしくお願い致します。」

何のプレゼントか疑問を持つかもしれませんが、ホワイトデーのお返しです。一面記事「小児科は何才まで?」と重なるようなメールです。卒業しても、社会人になっても、いつまでも繋がっているのがかかりつけであり、小児科医なのです。「お母さんの不安・心配」を一緒に乗り切った同士なので、こんなメールのやり取りができるのです。お互いにこんな思いを打ち明けられるのは、小児科医だからこそ可能なことなのです。こんなやりとりのできるかかりつけ医を、皆さんも持ってください。

ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) 予防接種 (HPV ワクチン)

対象者は、平成 15 年 4 月 2 日から平成 20 年 4 月 1 日に生まれた女性 (小学 6 年生~高校 1 年生)

子宮頸がんは若い女性に多く、日本では年間 1 万人が罹患して 3 千人近く亡くなる病気で、「マザーキラー」とも呼ばれています。HPV ワクチンは世界標準として接種され、子宮頸がん予防に有効であることが証明されています。現在、HPV ワクチンについては、積極的な勧奨を差し控えられていますが、中止ではありませんので、接種を希望する場合には定期予防接種 (無料) として受けることができます。



CLINIC NEWS「子宮頸がん予防ワクチン考」(右 QR) を読んで、女性をがんから守るワクチン接種を是非考えてください。

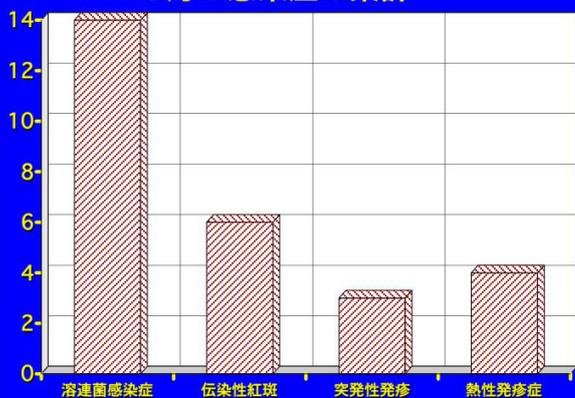
緊急風しん抗体検査事業・第 5 期風しん定期予防接種

対象者は、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性 (概ね 39 ~ 57 才)

風しん抗体価陰性を証明できる方。他の方は抗体検査により風しん抗体が不十分な方が定期予防接種の対象となります。抗体検査・予防接種費用は無料で、成人であっても当院で実施可能です。(平成 34 年 3 月末日まで)

パートナーだけでなく、周りにいる男性を誘って、社会を守るために検査と予防接種を受けてもらいましょう!!

3月の感染症の集計



過去最大の流行となったインフルエンザも収束して、先月は 23 人と 1/10 に減少しました。

例年インフルエンザが流行すると、他の感染症が目立たなくなります。溶連菌感染症が例年と比べて多く、伝染性紅斑も目立っています。高熱と喘鳴の気管支炎が多く、喘息だけで無く、グラフに示していませんが、RS ウイルス、HMPV (ヒトメタニューモウイルス) の感染も見られています。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は 600 人を越えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下の QR コードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信として Facebook ページ、YouTube にも取り組んでいます。最新情報は FB をどうぞ。Mail News が、かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

「小児科は何才まで?」を取り上げた理由ですが、以前と比べて大人の受診が増えています。もちろん開業以来 26 年の歴史が関係はしています。小児科医という看板だけで、大人が来ていけないと思われがちです。また大人だけで来るのが恥ずかしいと言われることがあります。いつでも安心してかかれて、何でも聞いて帰れるのがかかりつけです。そんな理由でもらったメールも掲載しています。大人も遠慮なく、どうぞ!!



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!